

「こどもの日」に寄せて

◇新年度が始まり、一か月がたとうとしています。1年生の子供たちも学校の生活にようやく慣れてきた頃でしょうか。2週目からは給食も始まり、6時間授業も経験しました。授業や給食の時に時々子供たちの様子を見に行きますが、1年生の子供たちは担任の先生の言うことをしっかり聞き、毎日よくがんばっています。2～6年生の子供たちも、やはり1つ学年があがったことで、昨年とは顔つきが違ってきます。4月、子供たちが元気に過ごせたことを本当にうれしく思います。

◇さて、5月5日は「こどもの日」。この日はもともと「端午の節句」でした。端午の節句は中国から伝わった風習で、病気や災いを避けるための行事だったそうです。その行事のために使っていた「菖蒲(しょうぶ)」が、武士の言葉や道具に似ていることから、だんだんと男の子の行事になっていったようです。1948年に、5月5日を「こどもの人格を重んじ、こどもの幸福をはかるとともに、母に感謝するための祝日」と国で決められてから、端午の節句の日が「こどもの日」になりました。今では、子供たちみんなをお祝いする日になっています。



◇「こどもの日」の様子を表した「背くらべ」という歌があります。

♪ 柱の傷はおとしの 5月5日の背くらべ
ちまきたべたべ兄さんが はかってくれた 背のたけ
昨日くらべりゃ何のこと やっと羽織の紐のたけ ♪

この歌は、こどもの日に、子供の背の高さに合わせて柱に傷をつけて記録し、毎年の子供の成長を喜び、今後の成長を楽しみにしたという風習をもとに描かれています。最近では、柱に傷をつけるようなことは減ってきているかもしれませんが、この歌を知らない人も増えてきているかもしれません。でも、時代に関係なく、子供の成長を願う家族の気持ちは、変わりません。

◇今年のゴールデンウィークは、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のために例年のような休日を過ごすことが難しい状況です。でも、「こどもの日」の原点にかえり、アルバムなどを見ながら、子供たちと一緒にこれまでの成長を喜ぶ時間をもってはいかがでしょうか。また、「こどもの日」が「母に感謝する」という日でもあることから、お母さんをはじめ、おうちの人やお世話になっている周りの人に感謝の気持ちを伝える機会にもできるかもしれませんね。



子供の日小さくなりし靴幾つ (林翔)

< 学校長 >